



島高だより
 令和6年10月号
 (通巻第223号)
 長崎県立島原高等学校
 編集：教育企画部

校長室から 『オンライン挨拶』 校長 渡崎次郎

令和2年10月31日(土)、新型コロナウイルス禍の中、ハロウィーン当日となった東京・渋谷には異例の光景が広がっていた。例年は仮装した若者でごった返し、逮捕者も多く出る。だがこの年は、区が中心となり来訪自粛を促しており、コロナ禍としては多くの人であふれたが、仮装した人や、トラブルはほとんど見受けられなかった。

同日、長崎市西山台2丁目のアパートの一室にも異例の光景が広がっていた。畳の上に置かれた広いテーブルの中央にパソコン、足もとにクラッカー。テーブルの左横に日本酒、右横に「さだまさし」さんのCDがセットされたプレイヤー。パソコンに向かって左に私、右に嫁さん。パソコンの中には、大学を卒業し、働き出したばかりの娘と、その娘を奪おうと企んでいる一人の青年が、緊張した面持ちで正座していた。

青年は大学の少林寺拳法部で娘と出会ったそうだ。貧血で体調を壊しがちだった娘を支えてくれたと嫁さんから聞いたことがある。学年が2つ上で、大学院を修了し、浦和市の製薬会社で働き出したばかりだそうだ。社会人になってからも娘との交際は続き、休みの日にはコロナ禍の中、片道2時間かけて川崎市に住む娘に会いに行っているそうだ。ふーん、そうですか。ありがとうございます。

8月に娘から相談があった。結婚したいそうだ。別に反対する理由もないが、私はその青年に会ったことがない。嫁さんは卒業式の日に一緒に食事をしたらしい。優しくそうな人だったとのこと。そうですか。娘は防衛関係の仕事に就いていて、籍を入れてから半年間はできない業務があるらしい。だから早めに籍だけ入れて、一緒に住みたいとのこと。おい、おい、ちょっと待ってくれよ。筋が通ってませんよね。第一、娘も青年のご両親に会ったことがないという。「まずは挨拶に行ってください」と言って時間を稼ぐことにした。

10月3日(土)、娘から連絡があった。神奈川県平塚市の青年のご両親に挨拶してきたそうだ。たくさん楽しい話題を振っていただいて、とてもありがたかったとのこと。認められたということか。

10月5日(月)、娘から連絡があった。引っ越しの準備を始めて、仮押さえした物件の保証会社の緊急連絡先に私の名前を書いたとのこと。おーい、何で私の名前かな？っていうか、まだ許可してないんですけど。頭にきたので、「筋を通せ」と嫁さん経由で伝えたら、いつ挨拶に来ればいいかとの返事。「こんなコロナ禍の中で関東から長崎に来られたら、お互い困るやろ」と嫁さん経由で伝えたら、じゃあどうすればいいのかとの返事。よって、前代未聞の「オンライン挨拶」をすることになったのである。

10月11日(日)、娘からの連絡。そろそろ「オンライン挨拶」の日程を決めたいとのこと。「考えとく」とだけ答えるつもりが、「彼氏はお酒飲めるのか？」と聞いてしまった。娘は喜んだ様子で、「お父さんと比べると弱いかも知れないけど、普通くらいは飲めるよ。」と返してきた。いらんこと聞いてしまった。

10月19日(月)、嫁さん経由で11月7日(土)はどうかと聞いたら、その日が引っ越しと言うではないか。何たることか。筋が全く通らなくなる。よって、引っ越しする前の10月31日(土)に運命の日を迎えることとなったのである。別に反対する理由はない。ただ「筋を通せ」と言いたいだけだ。いつかそんな日がくるとは思っていた。予想より少し早かっただけだ。

「さだまさし」さんの歌に、「親父の一番長い日」というのがある。演奏時間1分30秒もの大作である。お嬢さんと結婚させてほしいと挨拶に来た青年に対して、「わかった。その代わりに一度君を殴らせろ」というフレーズがある。娘の父親とはそんなものかと、ずっと思っていた。冗談で嫁さんに、「親父の一番長い日」を流そうか？と言ったら、「本気で言いよる？」と真顔で言われた。

14時を少し過ぎた頃、その会は始まった。事前に会次第を娘に送っていた。

- 1 自己紹介
- 2 挨拶
- 3 結婚許可
- 4 乾杯
- 5 歓談

パソコンの中で自己紹介と挨拶をしている青年の目を、私はじっと見つめていた。隣で心配そうに座っている娘も視界に入っていた。そして、あっという間に「お嬢さんと結婚させてください。」というフレーズが耳に届いた。会次第に「結婚許可」と入れたし、「こちらこそ、よろしくお願いします。」と、サクッと言うつもりだった。しかし、その言葉が出てこなかった。その代わりに涙が出そうになった。しばらく沈黙が続き、やっとの思いで話し出したが、何を話したか覚えていない。娘への思いというより、これからの2人の人生のことを話したような気がする。とにかく結婚を許可したのは間違いない。

そこから先は気が楽だった。2人の末永い幸せを願って、事前に送っておいた日本酒で乾杯、拍手、クラッカー、そしてCD再生。流れてきたのは「さだまさし」さんの「親父の一番長い日」ではなく、「奇跡」という曲だった。この曲は、私と嫁さんの結婚披露宴で新郎新婦入場の時に流した曲だ。これには嫁さんも感動したようだった。娘の目にも涙が浮かんでいるように見えた。やりきった。父親としてできることは全てやりきった。その後は私の独壇場だった。私が喋り、3人が爆笑する。実に気持ちの良い時間だった。入籍するのはいつでもいい。2人の幸せを心の底から祈ります。おめでとう。

島原高校の皆さん、いつか君たちもこんな気持ちになるときが来るかも知れませんね。
 ※2人は令和3年1月に入籍したが、新型コロナ流行のため、1年半後の令和4年7月に挙式。

2年生 進路講演会



10月4日(金)、北九州予備校長崎校の尾嶋恭平先生をお招きして、「受験生になる心構え」をテーマに大学が求める人物像や合格のための必勝勉強法、予備校生の習慣などについてお話しいただきました。以下、生徒の感想文の一部です。

- ・スマートフォンの使用時間を減らしたい。
- ・起きる時間、寝る時間、勉強し始める時間を一定にしたい。
- ・不合格体験記を読み、今の自分を考えると危機感を感じた。
- ・高校生活のすべてが今後の自分につながるの、部活や勉強、探究活動など、一生懸命取り組みたい。

実践できるものから取り入れようとする意志や、これまでの自分を振り返り、今後の目標を立てる様子が見られました。(進路支援部)

3年生 激励会

10月7日(月)、本校体育館においてPTA会長の金子様、PTA進路対策委員長の松本様をお迎えし、100日後に迫った大学入学共通テストにむけて激励会を開いていただきました。1、2年生から3年各クラスへ激励の言葉が詰まった色紙と励ましの言葉を、PTAからは激励の言葉が記された葉と励ましの言葉をいただきました。これを受けて3年生の各クラス代表が決意表明をしました。3年生は島高全員が3年生の受験の応援団であることを力に変え「合格」を勝ち取るまで懸命に取り組む活力がさらに強まりました。さらに、会の終わりには島高パワーレンジャーが登場し、3年生はパワーを注入してもらいました。(3学年主任 池崎)



高大連携事業 出前講座

10月11日(金)に、長崎大学から16名の先生方をお招きして、大学の紹介と模擬講義を実施していただきました。大学での学問や大学の最先端の研究などの一端に触れることで、新たな視点の獲得や、大学進学への意識向上につながったようです。生徒の感想には、「想像力をかき立てられてとてもよかった」、「なりたい職業の幅をもっと広げて考えてたい」、「今回のような機会があったら積極的に参加したい」などあり、生徒の進路意識の向上に役立つ講座ではなかったかと感じました。今日学んだことを足掛かりにしながら、より深く考え、調べ、自分の将来に向けて、ますます成長を重ねて欲しいと思います。(進路支援部)



B&S 研修 文理探究科×長崎外国語大学

9月24日(火)に、長崎外国語大学の留学生101名と、本校の文理探究科160名の国際交流を目的とした研修を行いました。本校では初の試みでしたが、島原城・武家屋敷と一緒に周りながら郷土の歴史や文化を紹介する生徒からは、生き生きとしたものを感じられました。この日に得ることができた自身の気持ちや考えを大事にし、この先も国際的な姿勢を育ててほしいと思います。(教育企画部)



探究活動 中間発表会

10月25日(金)⑥・⑦校時、普通科・文理探究科による中間発表会を実施しました。2年生の生徒たちがそれぞれの研究動機やデータ収集の方法、フィールドワークの報告、そして3月の最終発表会に向けた今後の課題などを発表しました。参観の先生方・3年理科・1年生による質問とアドバイスも飛び交い、実りある会となりました。(教育企画部)



芸術鑑賞会

10月23日(水)、芸術鑑賞会が実施されました。今年は郷土芸能にふれるということで、日本民俗音楽芸能集団「あべや」さんによる津軽三味線を鑑賞しました。あべやの阿部金三郎さんと阿部銀三郎さんの漫才のようなトークや民謡、生徒からのリクエスト曲の即興演奏、生徒も舞台にあがって一緒に踊ったソーラン節など、もりだくさんの内容で非常に盛り上がりました。日本の郷土芸能を堪能しながら、楽しい時間を過ごすことができました。あべやさん、本当にありがとうございました。(生徒会)

▲ 三味線や民謡に合わせてソーラン節を踊る様子

「島高青楓塾」「人生の達人セミナー」のご案内

◎日時: 令和6年11月15日(金) 開会 14:15
講演 14:20~15:20
パネルディスカッション 15:35~16:15

◎講師: 佐々木 慧(ささき けい)氏 <島高58回生・理数科1回生>

- ・九州大学芸術工学部卒業 東京藝術大学大学院修了
- ・建築家/建築設計事務所 axonometric 代表
- ・主なプロジェクト: NOT A HOTEL FUKUOKA など
- ・受賞: Under35 Architecture Exhibition2022 ゴールドメダル賞

◎演題: 「建築家として生きる」

◎会場: 島原文化会館大ホール

保護者、地域の方々もぜひご参加ください!

11月の主な行事予定

1日(金) 開校記念日	13日(水) 授業公開(~15日)
2日(土)~3日(日) 進研マーク模試(3年)	15日(金) 島高青楓塾・心に響く人生の達人セミナー
進研実力テスト(2年)	16日(土)~17日(日) 全統マーク(3年)
進研実力テスト(1年)	25日(月)~28日(木) 期末考査(1・2年)
※1年生は2日(土)のみ	29日(金) 採点日(1・2年)
6日(水) 人権同和教育	30日(土) 土曜講座(3年)
9日(土) 土曜講座(3年)	